

ゼロカーボン社会の構築に係る緊急提言

近年、世界各地で猛暑や台風、集中豪雨など地球温暖化に起因すると
いわれている災害が頻発しており、人間社会や自然界にとって著しい脅威
となっている。

この地球規模の問題を解決し、持続可能な社会を、未来を担う世代に
残すためには、気候変動が世界共通の差し迫った課題であると認識し、
今すぐに行動に移す必要があることから、次の事項について強く求める。

- 1 国が自ら「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明し、
リーダーシップをとって気候変動対策に積極的に取り組むこと。
- 2 改定が予定されている次期（第6次）エネルギー基本計画では、
「2030年に再生可能エネルギー発電比率40%超」といった意欲的な
導入目標を設定すること。

令和2年8月24日

全国知事会 会長 徳島県知事 飯泉 嘉門

全国知事会 ゼロカーボン社会構築推進プロジェクトチームリーダー

長野県知事 阿部 守一